

行動が思考を引き出す

校長 村上 俊一

「小説は誰にでも書ける。それは、毎日ちよつとの時間でも机の前に座ることである。」これは、作家で着物デザイナーでもある宇野千代さんの言葉です。

「頭で考えるだけのことは、何もしないのと同じことである。私たちは頭で考えるのではなく、手で考えるのである。手を動かすことによって、考えるのである。」と、続けて自分の著述の姿勢を示されています。

神石小学校では、今年度「書き写し」に取り組んでいます。いつでも、正しく整った文字を書く力を付けるために、お手本の字を見て、その通りを書き写す学習を繰り返しています。また、「頭で考えるのではなく、手で考える」勉強の仕方そのものです。繰り返し書き写し取り組むことによって、子どもたちの書く字が、少しずつ変わりの、自信につながって来ていると思います。

スマートホンやパソコンが当たり前の時代ですが、鉛筆と消しゴムを使って、手を通して考える学び方は、生涯にわたって必要なことです。

真の学びは、行動を通して思索する過程の確立にこそあります。